



家族に見守られ、記念品を受け取るナラさん(右)とミエさん(左)

笑顔で迎えた誕生日

伊藤ナラさんと藤原ミエさんの満100歳の誕生日を祝う会が1月10日、アイリス花巻で開かれました。はじめに睦保育園の園児たちがお祝いのお遊戯を披露。子どもたちのかわいらしいしぐさにお二人とも目を細めていました。また、渡辺市長職務執行者もお祝いに駆けつけ記念品を贈呈。家族や施設職員など、大勢の方の笑顔に祝福され、お二人の顔にも笑顔が広がりました。やさしい気持ちがいっぱいにあふれた誕生日。ナラさん、ミエさん、これからも元気に、楽しく毎日を過ごしてくださいね。



「鬼は外!」かわいらしい子供たちが、一緒に「なつて青鬼」に豆をぶつけました



「どんなお面にしようかな」みんなで楽しく鬼の面づくり



▲「大丈夫。みんな一緒だから恐くないよ」

「鬼は外! 福は内!」

石鳥谷地域で交流している三つの子育てサークルの豆まき会が2月3日、石鳥谷中央公民館で開かれました。職員が扮する鬼がそばにやってくる、子どもたちは鬼をやっつけようとして必死になって豆を投げつけ、泣きながらお母さんにしがみつく子もいて、参加した皆さんは子どもたちをやさしく見守っていました。豆をまき終えた子どもたちは、願いごとを書いた紙を鬼の体に貼り付け、最後は笑顔で鬼を見送りました。

防災へ 決意新たに

花巻、大迫、石鳥谷、東和の各消防団員約2千人が一堂に会し1月8日、消防出初式が文化会館で行われました。式典終了後、大迫地域では、大迫消防団出初式を開催。消防団員など約270人が参加し、愛宕神社大迫町上町で1年間の防火防災を祈願しました。続いて、ラッパ隊を先頭に団員、分署員が分列行進を開始。大迫町仲町まで、堂々と行進しました。新市消防団体制の発足により、消防団活動も広範囲となり。団員は、災害から住民の生命・身体・財産を守るという決意を新たにしました。



地域を守る重要な役目を担う皆さん。堂々とした行進から、「防火防災」への心意気が伝わります

この一年の無病息災を祈って

1月15日、成島の三熊野神社で地域の小学生やその家族など約100人が参加し、小正月行事のどんと祭が行われました。成島地域から集められた約1トンのお札やしめ縄などの正月飾りに子どもたちが点火。勢よく燃える炎の前で、無病息災と家内安全を祈りました。火の中にはもちが入られ、しばらくするとホカホカの焼きもちが完成。みんなでほおばっていると、灰や墨汁を顔に塗りあう奇祭、カラスの小正月がはじまりました。逃げ惑う元気な声が境内に響いていました。



「墨も塗られちゃったし、おもち食べへよ」と。運動のあとのおもちは格別?

大迫 地域 スポット

ひな 宿場の雛まつり

かつて、盛岡と沿岸地域とを結ぶ街道の宿場町として栄えた大迫。絹生産を通じ京都と取引があったことから、享保雛や次郎左衛門雛など、数多くの貴重な雛人形が残されています。

「宿場の雛まつり」は、桃の節句に子どもたちが「おひなさん、お見せっくなんしえ」と言って、家々の雛人形を見て歩いた風習を現在に再現したもの。9回目の今年は、商家や旧家などが所有する豪華な歴史雛を大迫中心商店街の21会場に飾ります。

時を超え、家々に大切に受け継がれてきた雛人形。皆さんも家々をまわり、さまざまな雛人形とふれあってみませんか。

【問い合わせ】
大迫・宿場の雛まつり実行委員会
(大迫商工会内 ☎48-3230)



- ▶日時 2月24日(金)~3月5日(日) 午前9時~午後5時
- ※一部会場は、2月18日(土)~4月3日(月)
- ▶会場 大迫商工会館、大迫中心商店街など21会場
- ▶入場料 大人300円(※大迫商工会館のみ)

関連イベント

紙芝居 「大迫の昔ばなし」

大迫に伝わる昔話を題材に、高校生が作った大型紙芝居の上演をどうぞお楽しみください。

日時 2月24日(金)、25日(土)、26日(日)、28日(火)、3月4日(土)、5日(日)

午前11時 午後2時
28日は 午後1時 午後3時
会場 畠米穀店(大迫町仲町)
入場料 無料

市日祈願祭

毎月「九」のつく日に開かれる昔ながらの「九の市」。宿場町大迫に、400年以上続く伝統の市です。「市日祈願祭」はこの「九の市」の発展を祈願する行事。皆さんも雛人形巡りを楽しみながら、市のにぎわいも満喫しませんか。

日時 2月28日(火)
午前10時~正午
会場 大迫商工会館前駐車場(大迫町仲町)
内容 神事、神楽権現舞(公演) 演 もちまき、どべっ(甘酒)サービス